

ビジネス・ブレークスルー大学 2024年第1回 第三者評価会議（企業）分科会

日時	2024年10月1日（火）13:00～14:00
場所	オンライン
議題	1. 【報告】実践型 生成AI活用キャンプ進捗のご報告 2. 【議論】委員の方から見える実践型 生成AI活用キャンプ講座の課題や、教育の質向上に向けた本学の取り組み・マーケティング活動について
出席	ASIMOV ROBOTICS 株式会社 藤森恵子 委員 株式会社 GLOCAL GUNSHI 吉井慎人 委員 上野大樹 デジタルビジネスデザイン学科長（議長） <b>【内部質保証室】大谷事務局長</b>

【議事骨子】

- ・議長から実践型 生成AI活用キャンプの教育目的、カリキュラム概要、主要講座の概要について説明した
- ・委員から、次のような質問が出た
  - － どのぐらいの数のプロンプトを提供しているのか。また、受講生の反応が高い（ニーズのある）領域はどこか。
  - － 最終課題であるGPTsの制作とプロンプトでの利用はどのように講座で使い分けを提示しているのか。
  - － 今後の展開として、上級編の講座も計画があるか。IT系の講座は受講中は良いが、閉講後にそのままになってしま人も出るため、後継講座があると良いのではないか。
- ・委員からの質問に対して、議長は次のような回答をした
 

現状では30～40程度のプロンプトを講座内で提供している。個々人で差はあるが、総じて受講生からの反応が良いのはマーケティング領域に関するもの。今後も開講のタイミングに合わせてカリキュラムは随時アップデートをしながらその時々で最適な内容を提供する。

特定の用途に際してはGPTsを使用し、汎用性の高い用途ではプロンプトを推奨している。今のところ受講生が使い分けに苦慮している様子はない。

これまであまり盛んにできておらず、今後の課題として認識している。一部の受講生からは本講座で学んだことをさらに発展させたいという声も頂いているので、上級編講座も企画をしている。

- ・実社会におけるAI活用人材の観点からは、本講座の良い点、改善すべき点は次のような発言がなされた

<良い点>

- 何かを作るだけだと、安く短い講座でできるが、基礎講座があった方が応用できるようになる。社内の IT 人材育成として、プロと会話をできる人を育てているのよい講座だと思う。
- インプットが動画視聴で、アウトプットに時間を使えるのがよい。自身の業務に関係ある成果物を作れるのは大変よいと思う。

<改善すべき点>

- 受講生が GPTs を作成できるようになるのは大変よいが、プロンプトの中身について個別のフィードバックもしていくと、さらに個々の習熟度が高まるのではないか。
  - 受講後もアップデート情報に触れる機会の提供や新規サービス立ち上げや社内業務など用途別に分かれる専門コースの提供もあると良いのではないか。
- 
- 議長は次のステップ、および課題について以下を重点項目として申し合わせた
    - 受講後の継続的な学習機会の提供と上級編講座の企画推進
    - 各学習者のレベル感や学習ニーズに応じた学習支援の提供
    - 満足度のさらなる向上に寄与する学習体験の設計
  - 次回開催は、本講座が修了する来年 25 年 4 月～5 月頃を目指とする事とした

以上